

## 9月13日：VN指数はまたしても反落 (VN-Index -0.37%)

- 昨日の上昇は長く持続せず、本日のVN指数は前日終値を下回って寄り付いた。
- 株価に影響するような材料不足により、慎重な投資家心理や低調な資金流入が継続し、軟調な相場を戻す動きは見せなかった。
- 各セクターにおいて個別銘柄の動きはまちまちであり、金融セクターのみが比較的統一感のある動きを見せた。
- 前場・後場の引け前にそれぞれわずかに回復を試みたが、どちらも半端な動きにとどまり、結果的に下落を維持したまま取引を終了した。
- 163銘柄が上昇、210銘柄が下落、90銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は5.7%上昇したものの、依然として11.1兆ドンと低かった。

## VN30指数は寄りで上昇するもすぐに反落 (VN-30 -0.26%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、10銘柄が上昇、18銘柄が下落、2銘柄が変わらずだった。
- SSB (+1.33%) の回復に加え、SAB (+1.26%)、VRE (+1.58%)も上昇した。
- GAS (-2.37%)、VNM (-2.41%)、MSN (-1.20%)が最も指数に影響した。

## セクター・個別株の動き

- 現在建設中のロンタイン空港開発プロジェクトにおいて、VCG (+0.56%)、C4G (+1.12%)の両社が6.2兆ドン相当の建設入札を獲得した。
- 台風11号「ヤギ」の被害修復のための資金借入についてVPB (-0.27%)は0.5%～1%の範囲で金利を引き下げると明らかにした。
- 外国人投資家は729億ドンの売り越し。FPT (+0.53%) の買い越し額が再び顕著だった一方で、VHM (-0.23%)、MWG (-0.44%)が売り越された。

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。